

新任農業委員インタビュー

1面でご紹介したとおり、平成26年7月20日から、新たに村野昭委員と森田龍幸委員が農業委員会に加わりました。お二人に農業委員としての意気込みなどを伺いました。

＜質問＞①農業に取り組むようになったきっかけ②福生市の農業について③農業委員としての意気込み

＜村野昭委員＞

①父が亡くなったこと。それまでは週末などに多少手伝う程度でした。②畑が少なくなってきて、宅地が増えたので、風通しなど環境が変わり難しいと感じています。③やることがいっぱいあるので、とにかく勉強しながらやっていきたいです。

＜森田龍幸委員＞

①父が亡くなったこと。周りの人に聞いたり、実際にご自分でやりながら育て方等を勉強してきました。②特に鍋ヶ谷戸の農地は少ないので、この貴重な農地を残していきたいです。③わからないことはどんどん周りに聞きながら、一生懸命取り組みたいです。

共に2世代、3世代続けての農業委員となるお二人。新しい委員さんを加えた新体制で、農業委員会は今後も様々なことに取り組んでいきます！



村野昭委員



森田龍幸委員

花いっぱい運動

平成26年5月21日の植栽日はあいにくの雨となりましたが、「グリーンクラブ福生」の皆さんが育てたペチュニアやマリーゴールドなどが市内各所を彩りました。



台風・雪害に備えて

台風や積雪は、農業に大きな被害を及ぼす恐れがあります。特に今年2月の大雪では、市内でもハウス等への被害が出ました。こうした災害を防ぐには事前対策が重要です。

＜台風への備え＞

出入り口等外部と通じている部分はしっかりと固定しましょう。特に風上側となるハウスは、浮き上がり防止のアンカーや外部補強金具を用いて肩の部分の補強を行いましょう。

＜雪害への備え＞

雪の重みでハウスの肩が広がらないよう、ワイヤーやターンバックルで固定する、支柱を立てて補強するといった方法があります。場合によってはビニールをはずすことで全体の倒壊を防げます。

なお、事後の処置は、未然の事故防止のため、台風の過後、降雪が止んだ後に行いましょう。